

教科名	数学		学年	2	教科書 補助教材 等	数研出版 数学Ⅱ 数研出版 クリアー数学Ⅱ+B
科目名	数学Ⅱ		単位数	4		
科目担当者	飯島、梅川、河内、川村、木村、砂原					
科目の到達目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を育てるとともに、それを活用する態度を育てる。					
学期	月	指導内容	主な指導目標		予定時数	備考
一 学 期	4	式と証明	整式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解でき、等式や不等式の証明ができるようにする。家庭学習		10	
	5	複素数と方程式	数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解けるようにする。因数定理を用いて高次方程式を解けるようにする。家庭学習		16	
	6	図形と方程式	座標や式を用いて平面図形の性質や関係を数学的に表現し、事象の考察に活用できるようにする。		16	
	7	期末考査	1学期のまとめ		6	
二 学 期	9	軌跡と領域	軌跡の定義を理解し、与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができるようにする。		16	
	10	三角関数	角の概念を一般角まで拡張して、三角関数について理解し事象の考察に活用できるようにする。		16	
	11	加法定理 指数関数	加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求められるようにする。指数関数について理解する。		16	
	12	対数関数 期末考査	対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。		8	
三 学 期	1	微分係数と導関数	微分の考え方について理解し、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用する。		12	
	2	導関数の応用 積分法	導関数を利用して、方程式の実数解の個数問題、不等式の証明問題を解くことができるようにする。		16	
	3	積分法 期末考査	積分法について理解し、それらを事象の有用性を認識し、事象の考察に活用する。		8	
年間授業 時間数計	140	1学期 48 2学期 56 3学期 36				
学習上の留意点	各内容において興味関心を引き出し、考える態度を養い、基本的な事柄を理解させるようにする。					
						評価方法
関心・意欲・態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。					定期考査・課題テスト ・平常点等
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。					
数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。					
知識・理解	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。					